

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

|                                |                                |                                 |                                              |
|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生物多様性 | <input type="checkbox"/> 海洋    | <input type="checkbox"/> 防災・減災  | <input type="checkbox"/> 気候変動                |
| <input type="checkbox"/> エネルギー | <input type="checkbox"/> 環境    | <input type="checkbox"/> 文化多様性  | <input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財 |
| <input type="checkbox"/> 国際理解  | <input type="checkbox"/> 平和    | <input type="checkbox"/> 人権     | <input type="checkbox"/> ジェンダー平等             |
| <input type="checkbox"/> 福祉    | <input type="checkbox"/> 生産と消費 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |                                              |

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は全学年で、持続可能な社会づくりに向けての課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けるための教育を行っている。

中でも、第4学年では、世界遺産・文化財についての学習を柱に、羽山台校区にある史跡・遺跡・文化財に関わる学習を体験・探究活動を通して実践した。



## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○ 羽山台校区にある史跡・遺跡・文化財に関わる学習（第4学年）

単元「発見！羽山台校区の宝」では、「地域のことを未来へつなぐ役割」「地域の人々との出会い」「地域の魅力を地域の人々や外部の人々に発信すること」を教材として取り上げた。校区にある史跡や遺跡を見つけ、それぞれについてゲストティーチャーから話を聞き、学んだ内容を他学年の児童や地域への発信を通して、自分たちの住んでいる地域の歴史や伝統といったよさを知るとともに、地域への愛着をもつことが目標である。

具体的には、まず、羽山台校区の歴史について学習した。羽山台小学校があるこの場所が、弥生時代であるおよそ2000年前にはどのような様子であったのかについて話してもらったり、学校が建設される際の発掘調査により発掘された土器等を触ったり、大きさを確かめたりした。この活



動により、児童は史跡・遺跡・文化財がどのようなものかを知ったり、身近なところに文化財があることなどに気付いたりすることができた。また、自分たちの校区を調べたいという課題意識をもつことができた。

その後、校区に今も存在する史跡・遺跡・文化財についての話を聞いた。例えば、児童の通学路にある寺や神社、昔から受け継がれている伝説などの、つくられた時期やつくられた経緯などについて詳しく話を聞いた。これにより、自分たちが生まれる何年も前から大切に残されてきたものが身近にあったことを知り、校区のよさをとらえることができた。また、史跡・遺跡・文化財について話を聞いたことで、児童は、もっと詳しく調べたいという追究意欲が高まった。

その後、グループに分かれて実際にそれぞれの場所へ行き、詳しく話を聞くフィールドワークを行った。建物の歴史や昔から伝わる伝説などについての探究活動を位置づけたことで、より羽山台校区のよさや魅力に気付くことができた。また、昔からある史跡・遺跡・文化財を今でも守り、受け継いでいる地域の人々の存在に気付き、これから自分たちが大切に受け継がなければいけないという意識も高まった。

最後に、これまでの活動を通して、学習した内容を基に、マップや本にまとめた。



## 4 今後の活動計画

令和5年度は、さらに世界遺産・文化財学習を柱とした体験活動や探究活動を充実させていく。そのために、以下の4点について改善していく。

- 1, 横断的・総合的なESDの実施を通した、PDCAサイクルの改善
- 2, 本校における世界遺産・文化財教育により育成する資質・能力の明確化
- 3, 地域の「ひと・もの・こと」を最大限に活用できるための連絡・調整の在り方の検討
- 4, 目的・内容・方法を明確化した、体験活動や協働学習の促進